

# ボクシングを始めて1年で全国制覇

今春に開催された全国高校選抜大会のボクシング男子ウェルター級で全国大会初出場で優勝した、開志学園高校ボクシング部の増田龍杜さんを紹介しします。優勝した時の様子やインターハイに向けた意気込みを伺いました。



## 増田 龍杜さん(吉田東町)

【開志学園高校3年生・ボクシング部】  
●全国高校選抜大会ウェルター級 優勝



▶佐賀県で開催されるインターハイに向けて、練習に励む増田さん。初戦は8月8日(日)です。

小学生時代に「サイジム」(吉田東町)でキックボクシングを学び、中学からバスケットボールの道へ進んだ増田さん。しかし、高校2年の春に、ボクシングに全力を注ぐことを決め、兄が在籍していた開志学園高校へと転学しました。

「キックボクシングとボクシングは全く別のものです。一から技術を磨くのは難しかったです。特にフォームや体の使い方は全く異なり、転学したばかりの頃はレベルが高すぎて落ち込むこともありました」と増田さん。

そうした中、日々の練習で、同じ部内の練習仲間から良いところを吸収し、技術力を向上させることができたとのこと。それが結果として表れ

てきたのが、春の全国高校選抜大会での優勝です。

「まわりの環境や家族の支えがあったからこそ、1年で全国制覇を達成できたのだと思います。初戦で勝つと、そのまま勢いに乗り、一試合一試合、全力で挑み、結果を出すことができました」と優勝した時の様子を教えてくださいました。

最後に、8月に佐賀県で開催されるインターハイでの目標を伺いました。「インターハイは各県の強者が集まる場で、選抜大会よりもレベルが上がります。しかし、自分のボクシングを信じて、全力で戦い抜いていきます。最後には優勝し、春夏連覇することが今の目標です」

※ウェルター級・体重別に分けられた階級の1つで、64kg～69kgまでの範囲を指す

## 紙上ブログ

燕市長 鈴木力



ジャックアンドベティ  
Jack & Betty  
プロジェクトの海外派遣事業を5年ぶりに再開します。

今年2月に実施した英語スピーチコンテストでの優秀者4名を親善大使として7月31日(水)から8月8日(木)まで、姉妹都市であるアメリカ合衆国のシェボイガン市に派遣します。

シェボイガン市に児童生徒を派遣するのは実に13年ぶり、二重の意味での再開となります。

親善大使たちは、ホームステイをしながら、現地の人々との交流や燕市のPR活動などを行います。

大使の皆さん、貴重な機会です。積極的に行動してきてください。報告会を楽しみにしています。

こちらは有料広告です。

中継・県央エリア ご利用世帯数 **73,000** 世帯

インターネット・ケーブルテレビ・電話

Wi-Fi インターネット + アンテナ不要 ケーブルテレビ + 基本料がオトク 固定電話

**3**つまとめてこの価格! **6,600円** 月額(税込)

お申し込み好評受付中!

インターネット・ケーブルテレビ・電話 **0120-080-009** 電話受付時間 9:30~17:30 (ドコモ光タイプCに関しては10:00~19:00) ※上記時間以外・土日祝・お盆期間・年末年始は時間外受付に転送されます。

※この広報紙は、環境にやさしいページタブル・オイル・インクを使用しています。